

# 子どもの「やってみたい」を大切にする児童館“らいつ”



石巻市子どもセンターらいつ副館長

／NPO 法人子どもにやさしいまちづくり代表理事 吉川恭平

石巻市子どもセンターらいつ(以下「らいつ」)は、宮城県石巻市にある児童館です。JR 石巻駅から徒歩 10 分の商店街の一角にあり、乳幼児から小中高生世代までの幅広い子どもたちが遊びに来ています。

東日本大震災後、らいつは、子どもまちづくりクラブのメンバーが考えた“夢のまちプラン”が基となって建設されました。復興していくまちがどんなまちになったらいいか、子どもたちが白地図に思い思いのアイデアを描いたものが“夢のまちプラン”です。「石巻の老若男女が集まって、他の世代・学校の人たちとも交流できる場所がこれまでにありませんでした。だから、みんなが楽しめてゆったりできる場所が欲しい。」「元々あったライブハウスがなくなってしまったので、ライブが観られて、自分たちも自由に音楽を表現できる場所がほしい。」などいろんな想いを込めて、「大人も子どもも過ごしやすい、古いものも新しいものも一緒に Roll'nRoll のまち」をコンセプトに、復興していく自分たちのまちがこんなまちになったらいいなとみんなでつくりました。その“夢のまちプラン”のいろいろな想いやアイデアを 1 つにして児童館として実現させたのが、らいつです。2014 年 1 月に開館し、いまでは年間約 2 万 7000 人の子どもと保護者が遊びに来ています。

開館後も、子どもの権利を柱に子ども参加の視点で、子どもの主体性を大切に、「石巻の活性化のために、中高生が中心となってつくり、運営していく施設。みんなが過ごしやすく、子どもの想いを世間の人たちに伝えられる場所」をコンセプトに運営に取り組んでいます。

らいつを飛び出して開催したイベントを見た小学 2 年生が「みんなでおでかけしたい！」と近くの公園にみんなでおでかけするイベント「らいつ

でおさんぼるんるんるん」を企画したり、らいつ建設後も活動に取り組む子どもまちづくりクラブでは商店街にもっとたくさんの人に来てもらおうと、お店を取材して回り、写真撮影やお店の紹介文をつくり、オリジナル商店街マップを作成したり、開館から 8 年、たくさんの子どもたちの「やってみたい」が実現しました。

初めてらいつに遊びに来た子どもたちの中には、「なにをして、遊んだらいい？」と質問してくる子どももいます。そういった子どもたちも、「なにがしたい？」「どんなことが好き？」と問いかけ、コミュニケーションをとることで、少しずつ自分のやりたいことを始めていきました。そして自分から遊びの提案をしたり、他の子どもたちと遊んだりするようになり、また利用方法について話し合う子ども会議に参加するようになるなど何か月、何年という時間の中で、少しずつ主体的な姿を見せるようになりました。

日常の遊びや異年齢での関わりの中で生まれた「やってみたい」を大切にする、また子どもの困った、しんどいに寄り添いながら、子どもたちの持っている力を信じて、「待つ」という姿勢を大切に、これからも活動に取り組んでいきたいと思っています。

